

オール東条

学校だより 第39号
発行日：令和4年3月24日
発行者：校長 吉村 郷

★★★ ありがとうございます ★★★



二度の「まん延防止等重点措置」、夏には「緊急事態宣言」と新型コロナウイルス（デルタ株・オミクロン株）の猛威を真正面から受け止め戦い続けた1年間でした。「マスクの着用」「手洗い」「換気」「距離」、私たちの日常で当たり前に使われる言葉であり、みんなでやりたいことをずっと「がまん」し続けている1年間でもありました。

しかし、制限のある窮屈な日常の中でも、子どもたちは、前向きに勉強を頑張り、ルールを守った生活をし、そして、限られた中で工夫をしてきました。今年は、『今できることを できるかたち』で実践していこうと、みんなで考えに考え、知恵を絞って取り組んできました。その時々子どもたちの見せる「まぶしい笑顔」と「元気な声」に、私たち大人は何度励まされたことでしょうか。

東条っ子は、まっすぐで素直な子どもたちです。だからこそ私たちは子どもたちに様々な教育ができています。このように成長できているのは、子どもたちを各家庭でしっかりと支えてくださっているからこそだと感謝しています。



さて、この1年間で各学年の成長した姿の一部を紹介します。

1年生、「目標」を立て努力ができました。友達に心を込めて「ありがとう」と伝えることができました。学習・運動に全員が楽しく取り組みました。

2年生、「九九練習」「市漢字検定」「音読練習」を全員が目標をもって頑張りました。6送会では、卒業生に感謝の気持ちを伝えることができました。

3年生、「市漢字検定」「学力テスト」に向けて復習を頑張りました。縄跳びでは友達同士でアドバイスをしながら切磋琢磨ができました。欠席者がいる場合に「かわりに自分ができること」を考えて行動する人が増えました。

4年生、読書量が増えました。縄跳びでは難しい跳び方に挑戦したり跳ぶ回数が増えたりしました。6送会では実行委員を中心に準備や練習を進め感謝の気持ちを伝えました。「進んで働く姿」に今後の活躍が期待できます。

5年生、学力検査や縄跳び等、目標を立てて計画的に取り組みました。「6送会」「卒業式準備・後片付け」など、素晴らしい団結力を発揮して活動できました。全校のために働く姿を5年生同士で認め合うことができました。

私たちは、保護者や地域のみなさまのご支援とご協力があったからこそ、子どもたちと一歩ずつ前進して来れました。そして、これからも邁進することができることを確信しています。

みなさまの深い「東条愛」を軸にした「オール東条」の精神に、心より感謝しています。今までありがとうございました。